

ご使用の前に必ずお読みください。



Atoa ホワイトドルフィン

取扱説明書



型 式 A-TNA-SS010

このたびは、弊社のテニスマシーンをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

安全上のご注意

※本書はマシーン使用者が、**いつでも読めるところに必ず保管**してください。

※マシンの取り扱い、マシンの危険性をこの取扱説明書でよく理解された方が行ってください。

※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、**正しくお使いください**。

※ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、**あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもの**です。

※このマシンは、テニスの練習以外に使用しないでください。

※絵表示と意味は、次のようになっています。



取り扱いを誤った場合、「**死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される**」内容を示しています。



取り扱いを誤った場合、「**死亡または重傷を負う可能性が想定される**」内容を示しています。



取り扱いを誤った場合、「**傷害を負う可能性、および物的損害のみの発生が想定される**」内容を示しています。



守っていただくべき義務行為を示しています。



禁止の行為であることを告げるものです。



感電の恐れがあることを告げるものです。



発火の可能性があることを告げるものです。

危険



事故を防ぐためにマシーン使用前にはマシーン本体（ホイール、ブザーなど）、リード線、ACアダプターに異常がないか点検してください。特にホイールは高速回転しますのでハガレ・キズ・裂け目などの有無やホイールの樹脂部にヒビ・ブレがないかを確認してください。







ホイールの使用期限は3年です。ご購入日より3年経過したホイールは必ず交換してください。ホイールは保管状況・使用頻度により寿命は変化します。



ホイールのウレタンは日々劣化していきます。そのため樹脂部とウレタンの接着強度も落ちていきます。古くなり劣化したホイール（ヒビ割れ、弾力性が劣るなどの症状が見うけられるホイール）は高速回転させると遠心力によりウレタンが欠けて飛び大変危険ですので絶対に使用しないでください。

危険

-  表面が切れているボール、硬さの一定しないボール、大きさの異なるボール、傷みのひどいボール、濡れたボール、空気圧の抜けたボールなどは使用しないでください。コントロールが悪くなり、予想外の方向に飛ぶ恐れがあります。
-  マシン使用中は、マシンの周辺及び使用範囲（ボールが届くと思われる範囲）には、関係者以外近づけないようにしてください。
-  マシン使用中は、大変危険ですから絶対にマシンの前を横切らないでください。
-  マシン使用中は、リモコンを衣服のポケットなどに入れないでください。誤操作の恐れがあります。
-  回転している部分には、絶対に触れないでください。
-  ホッパーからボール供給が途切れても、マシンを停止させるまで投球線上（マシンの前）には絶対に近づかないでください。球切れと思える場合でも、ホッパーにボールが残っていて、投球される恐れがあります。
-  マシン運転中にマシンの振動が大きくなったり、異音が出た場合は、リモコンの運転 / 停止ボタンで停止させ、マシンの電源スイッチをOFFにし、マシンの使用を中止してください。
-  マシンは屋内で湿気やほこりの少ない場所に保管してください。温度、湿度の高い場所（自動車の車内や暖房器具の近くなど）や直射日光が長時間あたる場所、ほこりの多い場所に保管すると故障の原因になります。
-  マシンは石灰と同じ場所には保管しないでください。石灰は空気中の水分を集めると同時に強いアルカリ性でホイールの表面を溶かし寿命を縮める大きな原因になります。またマシンには、石灰の付いたボールは、絶対に使用しないでください。ホイールに石灰が付着し寿命を縮める原因になります。ホイールは保管状況・使用頻度により寿命は変化します。

安全上のご注意

警告



雨の日はマシンやコードリールを絶対に使用しないでください。また、マシンやコードリールは水などで濡らさないように注意してください。濡れた手で電源プラグ、AC出力プラグ、DC出力プラグを触ると感電の恐れがあります。



硬式テニスボール以外は絶対に使用しないでください。



ホッパーにボールを補給するときは、リモコンの運転 / 停止ボタンでマシンを停止させてから行ってください。



マシンは絶対に分解しないでください。



弊社指定部品以外の部品は絶対に使用しないでください。

注意



コードリールのコードは必ず全部引き出して使用してください。巻いたまま使用すると、コードが発熱し、被覆が溶けてショートすることがあります。（燃えることもあります。）



電源プラグ、AC出力プラグ、DC出力プラグは、必ず根元を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線やショートの原因になります。



マシンを使用しないときは、リモコンの電源スイッチを OFF にしてください。また長期間使用しないときは、乾電池の液漏れを防ぐために、リモコンから乾電池を取り出してください。



マシンの移動は、リモコンの運転 / 停止ボタンでマシンを停止させ、マシンの電源スイッチを OFF にして、ホイールが完全に静止したのを確認してから、転倒させたりぶついたりしないように注意して、移動用取っ手を持って移動させてください。

※グラウンドはぬかるんだりして転倒につながる可能性がありますので注意してください。

マシンが到着したら

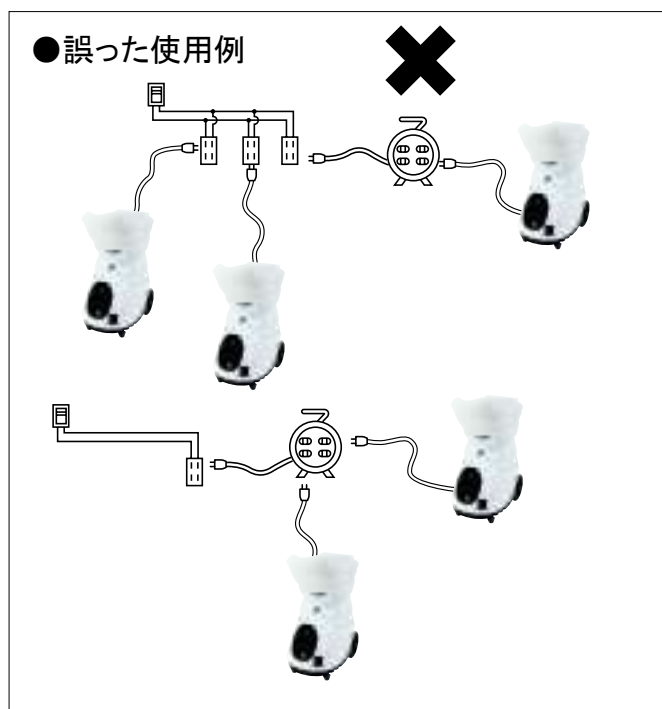
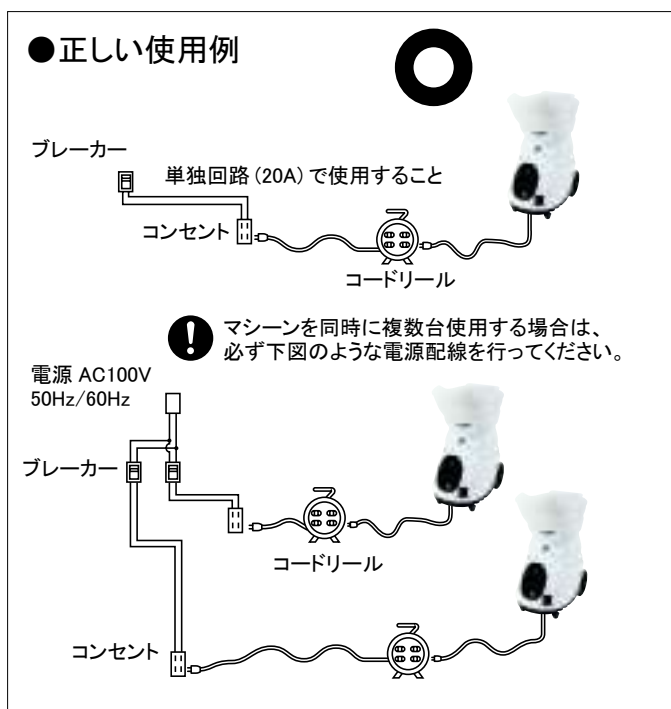
- 到着したマシンが、注文された商品であることを確認してください。（品番など）
 - 到着したマシンが、運送途中、その他トラブルなどで損傷・破損している箇所がないか慎重に点検・確認してください。万一、損傷・破損が認められた場合は、運送会社もしくは購入先の販売店まで至急ご連絡ください。この場合は、マシンを絶対に使用しないでください。事故や破損部の拡大の原因になります。また、運送保険の適用を受けることができなくなります。
- ※ マシンの到着より点検、確認、連絡まで5日以上経過していますと、運送途中のトラブルが原因の修理に対して運送保険の適用が受けられなくなり、有料になる場合がありますので予めご了承ください。

目次

安全上のご注意	1
マシンが到着したら	4
目次	4
使用環境について	5
箱の中に入っているもの	6
はじめてお使いになる前に	6
各部の名称	7
リモコンの表示とボタン名称	8
充電について	8
マシンの設置について	11
使用ボールについて	11
使用手順	12
色々なボールの出し方	15
球速と供給ピッチの目安	20
トラブルシューティング	21
アフターサービスについて	23
表示シール（一覧）	24
製品仕様	24

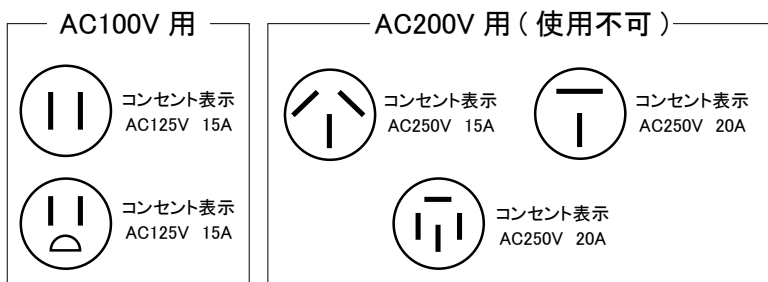
使用環境について

- マシーンに使用するコンセントの形状・電圧を確認してください。
- マシーンに使用するコンセントに流れている電圧をテスターで実測してください。
- このマシンは AC100V 専用です。内部基板が損傷しますので AC200V では絶対に使用しないでください。
- コードリールを使用する際、コードは必ず全部引き出してください。製品定格 5A・コンセントプラグ定格 15A のコードリールは、全巻時では 5A までの電流が流れます。全て引き出したときに 15A の電流が流れます。全巻時に電流が 5A を超過した場合、コードが発熱し、被覆が溶けてショートして燃える恐れがあり大変危険です。
- マシーンに使用するコンセントのブレーカーは 20A 以上を使用してください。また、コンセントは単独回路 (20A) で使用してください。下図に示すような状態で使用すると、ブレーカーが落ちる場合があります。20A 以下のブレーカーを使用すると、容量不足で使用中にブレーカーが落ちる場合があります。



- コンセントの表示または型式により電圧を自己判断することは危険です。必ずしもコンセント形状に合った電圧が流れているとは限りません。電圧をテスターで実測してください。

【代表例】



箱の中に入っているもの

●お買い上げいただいた商品の部品が下記のとおりにはまっていることを確認してください。



はじめてお使いになる前に

●商品運搬中の誤作動防止のため、お買い上げ時はマシーンにヒューズが取り付けられておりません。マシーンをお使いになる前に、付属のヒューズをヒューズソケットに取り付けてください。



ヒューズ
ヒューズ
ソケット

●リモコンをお使いになる前に、付属の単四乾電池を入れてください。



❗ 乾電池を正しい向きに入れてください。

各部の名称



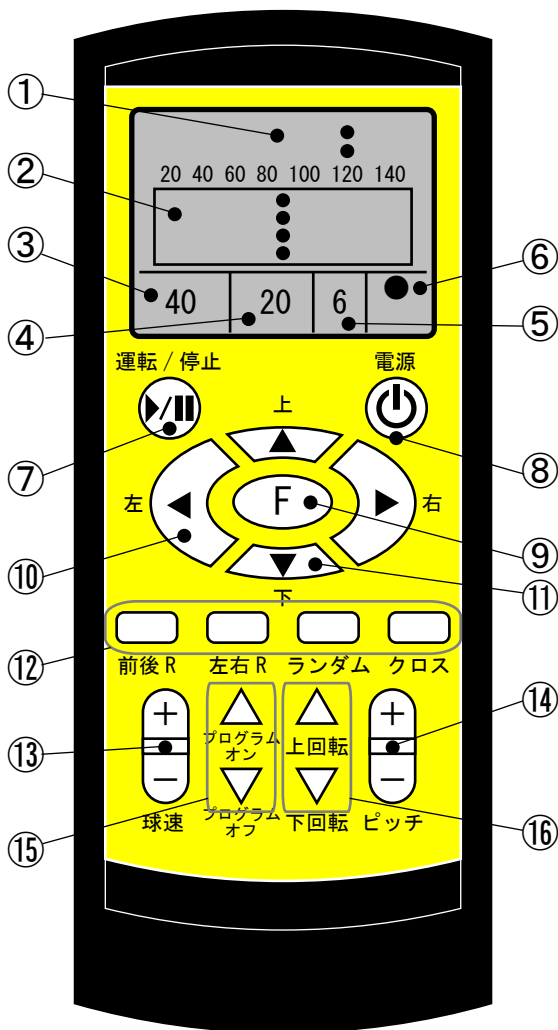
【リード線】



【AC アダプター】



リモコンの表示とボタン名称



①球速表示

設定範囲は「20～140(遅～速)」、標準設定は「80・80」。

②モード表示

③左右設定表示

設定範囲は「10～70(左～右)」、標準設定は「40」。

④上下設定表示

設定範囲は「10～40(下～上)」、標準設定は「14」。
球速設定が「60・60」以上または上回転・下回転の場合に、上下設定が「20」を越えると、球速設定は「50・50」の無回転ボールに自動設定されます。

⑤供給ピッチ表示

設定範囲は「1～9(遅～速)」、標準設定は「5」。

⑥運転 / 停止表示

マシン運転中は●印が表示されます。

⑦運転 / 停止ボタン

⑧電源ボタン

長押しでリモコン電源の ON/OFF が切り替わります。

⑨Fボタン

⑩左右調整ボタン

⑪上下調整ボタン

⑫モードボタン(4種)

⑬球速調整ボタン

⑭供給ピッチ調整ボタン

⑮プログラムボタン

⑯上回転・下回転ボタン

※リモコン操作における「左」「右」の方向設定は、プレーヤー側から見た方向を示します。

充電について

- このマシンは AC100V 電源に接続して継続使用するほか、内蔵バッテリーに充電をして使用することができます。10～12時間の充電で満充電となります。
- マシンを運転しながら充電することはできません。マシン作動中に充電接続しても内蔵バッテリーには電源供給されません。

充電について

- 満充電状態で使用できる時間は、マシンの設定条件により大きく異なります。

【参考数値】

- ・球速設定 140-140 供給ピッチ設定 9 → 約3時間
- ・球速設定 20-20 供給ピッチ設定 1 → 約7時間

※上記の参考数値は各設定条件での連続運転時間です。実際にボールを投球したり、電源の ON・OFF の切り替え操作によって連続運転時間は短くなります。

※上記の参考数値はあくまで目安となっております。使用環境やバッテリー使用回数により表記どおりにならないことがあります。

- バッテリー残量表示が 10 ~ 30% になると、運転中のマシンはバッテリー残量不足で合図音と共に停止します。
- 繰り返し充電や長期間放置によって連続運転時間は短くなります。連続運転時間が上記の参考数値に示す時間の約半分になったら内蔵バッテリーの交換時期となります。
- 寿命を越えた内蔵バッテリーを充電すると AC アダプター、マシン本体に負担がかかり、故障する恐れがあります。
- 内蔵バッテリーの交換は工場修理となります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 内蔵バッテリーのライフサイクル(充放電回数)をできるだけ多くするために、充電前には低球速・低ピッチ設定で空運転(ボールを投球せずに運転)し、自動停止するまで放電することをおすすめします。

充電する

- 1 AC アダプターにリード線の AC 出力プラグを差し込みます。

【図-1】



- 2 マシンの DC ソケットに AC アダプターの DC 出力プラグを差し込みます。【図-2】



- 3 マシンの電源スイッチを OFF (AC・DC どちらでもない状態) にします。【図-3】

※マシンを運転しながら充電することはできません。

※電源スイッチが「AC」や「DC」の場合、マシンが停止状態でも充電することはできません。



- 4 リード線の電源プラグをコンセントに差し込み、充電が開始されます。【図-4】
※ACアダプターの通電ランプが赤く点灯します。【図-5】



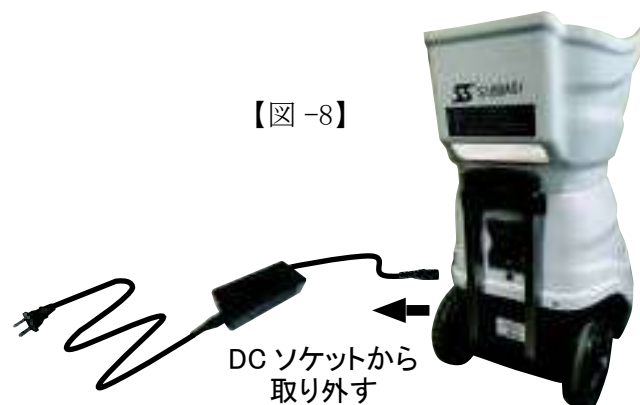
- 5 充電状況を確認します。ACアダプターの通電ランプが緑色に点灯したら満充電を示します。【図-6】
※10～12時間の充電で満充電となります。
※充電中にマシンの電源スイッチを「DC」にするとバッテリー残量が表示されますが「100%」表示されても内蔵バッテリーは満充電ではない場合があります。満充電をする場合は通電ランプが緑色になるまで充電してください。



- 6 満充電になったら、リード線の電源プラグをコンセントから抜きます。【図-7】

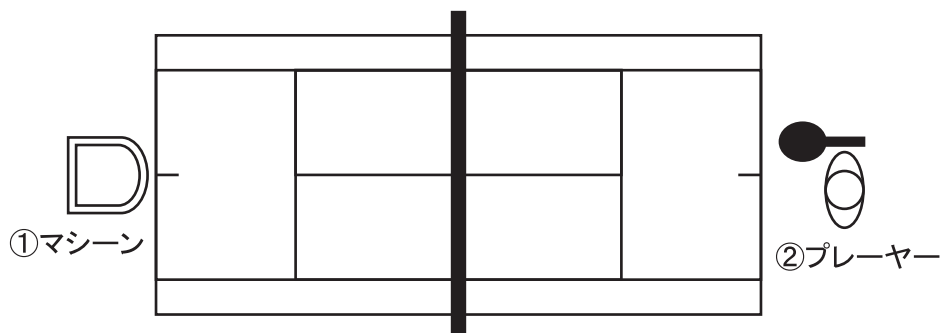


- 7 ACアダプターのDC出力プラグをマシンのDCソケットから取り外します。【図-8】



マシンの設置について

- 安全にマシンを使用するために、下図の要領でマシンの設置してください。



①マシン

- ・コートのベースライン付近に設置してください。「ランダム」や「クロス」のモード機能を使用する場合はセンターマーク（ベースラインの中央）付近に設置してください。

②プレーヤー

- ・マシン運転中は投球されるボールに常に注意してください。
- ・リモコン操作における「左」「右」の方向設定はボールを受けるプレーヤー側から見た方向を示します。

使用ボールについて

- このマシンは硬式専用です。硬式テニスボール以外は絶対に使用しないでください。球速が変わったり、コントロールが定まらなかったり、ボールの種類によっては部品の損傷にもつながり大変危険です。
- よりよいコントロールを得るために、同じメーカー及び同程度の使用頻度のものを使用してください。
- 表面が切れているボール、硬さの一定しないボール、大きさの異なるボール、傷みのひどいボール、濡れたボール、空気圧の抜けたボールなどは使用しないでください。コントロールが悪くなり、予想外の方向に飛ぶ恐れがあります。

※ダンロップ製「セントジェームス」はホイールとの相性が悪く、短時間の使用でもホイールにフェルトやゴムなどが付着し、スリップを起こしボールが飛ばなくなる恐れがありますので、ご使用を控えてください。

万一、ホイールに付着物がありましたら、紙やすりなどで除去してください。また、フェルトがセンサーなどに付着し、誤作動を起こす可能性もあります。

使用手順

- 1 マシンや使用するボールに異常がないか点検します。

【図-9】

- 2 移動用取っ手を引き伸ばし、マシンを使用する位置に移動させます。【図-9】

※マシンの移動は、大人の方が行ってください。

①引き伸ばす



②移動させる



- 3 マシンを使用する位置に置いたら、移動用取っ手を収納します。【図-10】

収納する



【図-10】

- 4 ホッパーを取り付け直します。【図-11】

※マシンの上部に沿って奥まで差し込んでください。

【図-11】



- 5 ホッパーにボールを入れます。

※最大収納数は約 120 球です。それ以上ボールを入れるとボールが供給されなかったり、こぼれ落ちたり、部品が破損・故障する恐れがあります。

使用手順

- 6 電源用途に合わせて電源接続し、電源スイッチを ON にします。

AC100V で使用するとき

- 6A-1 コードリールのコードを全て引き出し、打球の当たらない場所にコードリールを設置します。
- 6A-2 マシンの AC ソケットにリード線の AC 入力プラグを差し込みます。【図 -14】
- 6A-3 電源スイッチが OFF (AC・DC どちらでもない状態) になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 6A-4 ホイールなどの回転部に接触物がないことを確認し、電源スイッチを ON (AC 側) にします。【図 -15】

【図 -14】



ブザー ON/OFF スイッチ

【図 -15】



内蔵バッテリーで使用するとき

※内蔵バッテリーの充電方法は「充電について」(P.8)を参照ください。

- 6B-1 ホイールなどの回転部に接触物がないことを確認し、電源スイッチを ON (DC 側) にします。【図 -16】

【図 -16】



- ! 電源スイッチを ON にするとホイール回転が始まりますが、リモコン操作するまで投球はされません。

- 7 リモコンの電源ボタンを**長押し**して、リモコンの電源を ON にします。【図 -17】

- 8 周囲の安全を確認後、使用する用途に合わせてリモコンを操作して、投球運転を開始します。

※投球運転のリモコン操作については「リモコンの表示とボタン名称」(P.8)、「色々なボールの出し方」(P.15)を参照ください。

【図 -17】



電源ボタン
長押し

- ! リモコンのボタン操作時、投球時にマシンから合図音が鳴ります。合図音の有無はブザー ON/OFF スイッチで切り替えることができます。【図 -14】

- ! ホッパーにボールを補給するときは、リモコンの運転 / 停止ボタンでマシンの停止してから行ってください。

- ⊘ ホッパーからボール供給が途切れても、マシンを停止させるまで投球線上 (マシンの前) には絶対に近づかないでください。球切れと思える場合でも、ホッパーにボールが残っていて、投球される恐れがあります。

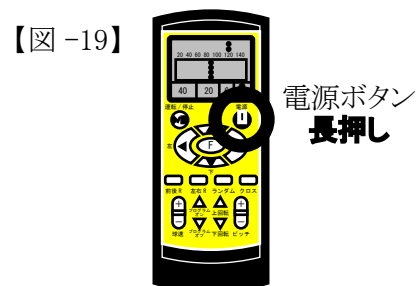
- 9 マシンの使用を終了するときはリモコンの運転 / 停止ボタンで停止させます。【図 -18】

※運転 / 停止ボタンを押しても、ホイールはすぐには止まりませんので完全にホイールが停止するまでマシンには触れないでください。

- ! 停止操作時はマシンから通常より長い合図音が鳴ります。



- 10 ホイールが完全に静止したら、リモコンの電源ボタンを**長押し**して、リモコンの電源を OFF にします。【図 -19】



- 11 マシンの電源スイッチを OFF(AC・DC どちらでもない状態) にします。

AC100V で使用したとき

- 11-1 電源プラグをコンセントから抜きます。

- 11-2 AC 入力プラグを AC ソケットから抜きます。【図 -20】

【図 -20】



- 12 ホッパーに残ったボールを取り除きます。
※ボール送りに入ったボールは無理に取り出さず、マシンを再度運転させてボールを投球してください。操作を行う際は、マシンの周辺および使用範囲（ボールが届くと思われる範囲）に注意してください。

【図 -21】

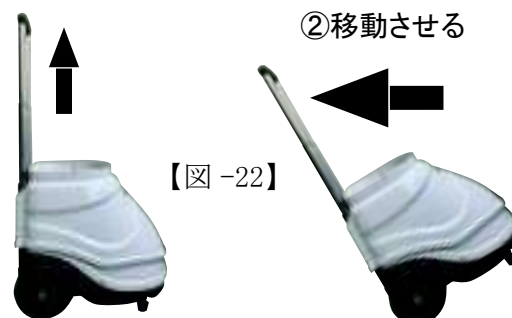


- 13 ホッパーを取り付け直します。【図 -21】
※マシンの上部に沿って奥まで差し込んでください。

- 14 移動用取っ手を引き伸ばし、マシンを移動させ収納します。
【図 -22】
※マシンの移動は、大人の方が行ってください。

①引き伸ばす

②移動させる



- ! マシンの内部にボールのフェルト材がたまっている場合は取り除いてください。

色々なボールの出し方

※ 上下設定が「20」以上の場合、球速設定は「50・50」以下での投球となります。

※ 球速設定が「60・60」以上または上回転・下回転の場合に、上下設定が「20」を越えると、球速設定は「50・50」の無回転ボールに自動設定されます。

※ 上下設定が「21」以上の場合に、球速設定は「50・50」が上限となります。
また、上下設定が「21」以上の場合、上回転・下回転に変更することができません。

● 1箇所に向かって投球するほか、4種類のモード設定やプログラム設定を選択することができます。

1箇所に向かってボールを出す (F) . . . P.15

前後方向にボールを拡散する (前後 R) . . . P.16

左右方向にボールを拡散する (左右 R) . . . P.16

前後左右方向にボールを拡散する (ランダム) . . . P.17

前衛・後衛の交互にボールを出す (クロス) . . . P.17

好みの順にプログラムする (プログラム) . . . P.18

● ボールの回転を上回転や下回転に変更することができます。

※通常は無回転ボールが出ます。

上回転ボールを出す (上回転) . . . P.19

下回転ボールを出す (下回転) . . . P.19

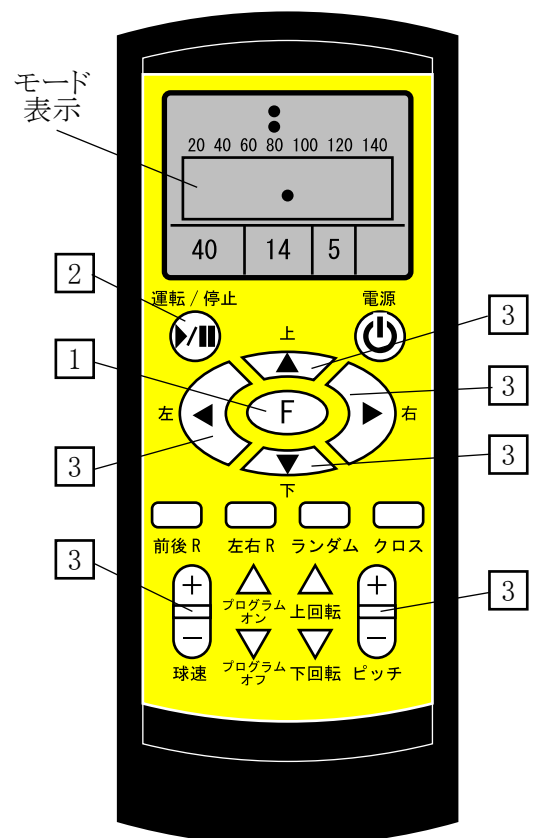
1箇所に向かってボールを出す (F)

- 1 リモコンのFボタンを押し、1箇所固定モードにします。
※モード表示が1箇所固定モードに切り替わります。
※リモコンの電源スイッチをONにすると、毎回1箇所固定モードから開始されます。

- 2 運転 / 停止ボタンを押して、投球運転を開始します。

! リモコンのボタン操作時、投球時にマシンから合図音が鳴ります。

- 3 投球を確認後、左右方向、上下方向、球速、供給ピッチを必要に応じて調整します。



前後方向にボールを拡散する(前後 R)

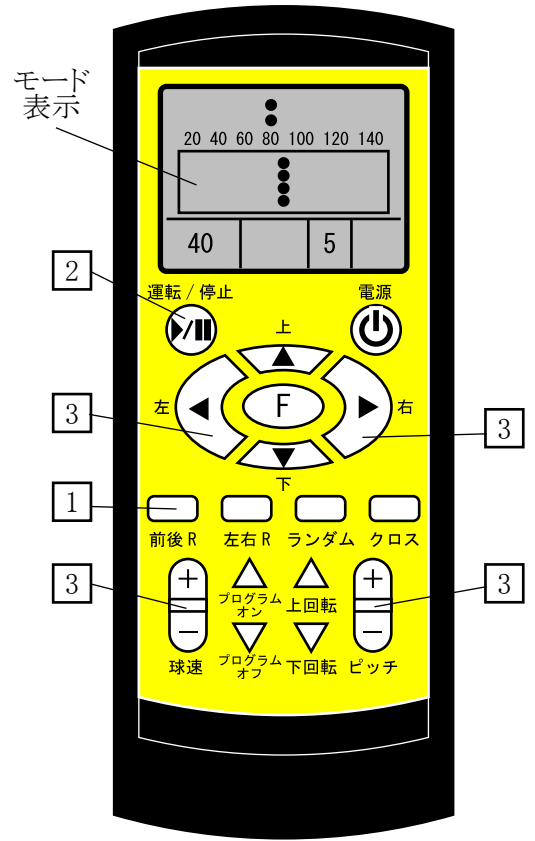
- 1 リモコンの前後Rボタンを押し、前後ランダムモードにします。
 ※モード表示が前後ランダムモードに切り替わります。



- 2 運転 / 停止ボタンを押して、投球運転を開始します。

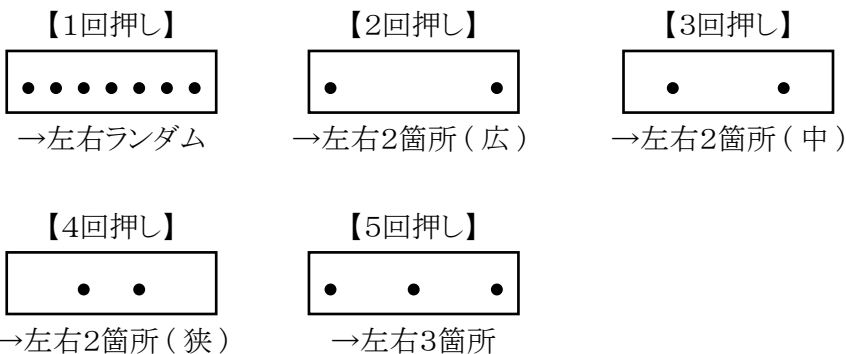
! リモコンのボタン操作時、投球時にマシーンから合図音が鳴ります。

- 3 投球を確認後、左右方向、球速、供給ピッチを必要に応じて調整します。
 ※上下方向の調整はできません。



左右方向にボールを拡散する(左右 R)

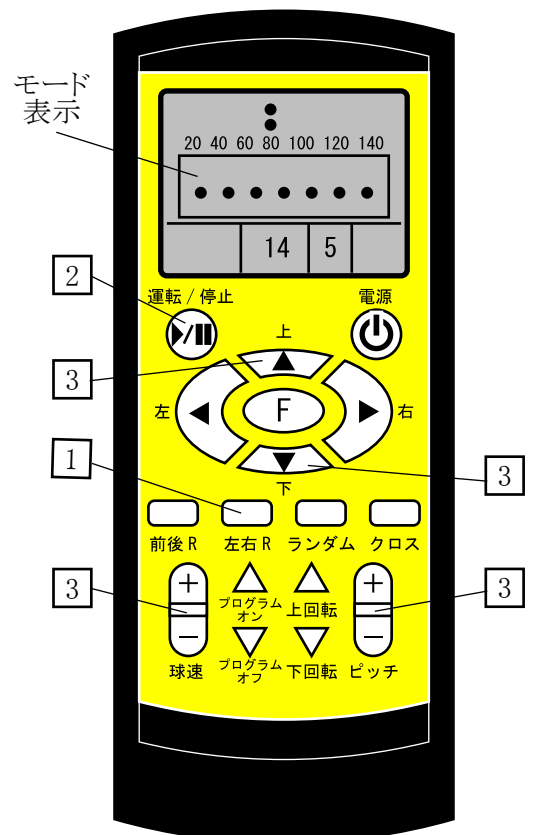
- 1 リモコンの左右Rボタンを押し、左右ランダムモードにします。
 ※モード表示が左右ランダムモードに切り替わります。



- 2 運転 / 停止ボタンを押して、投球運転を開始します。

! リモコンのボタン操作時、投球時にマシーンから合図音が鳴ります。

- 3 投球を確認後、上下方向、球速、供給ピッチを必要に応じて調整します。
 ※左右方向の調整はできません。



色々なボールの出し方

前後左右にボールを拡散する(ランダム)

- 1 リモコンのランダムボタンを押し、ランダムモードにします。

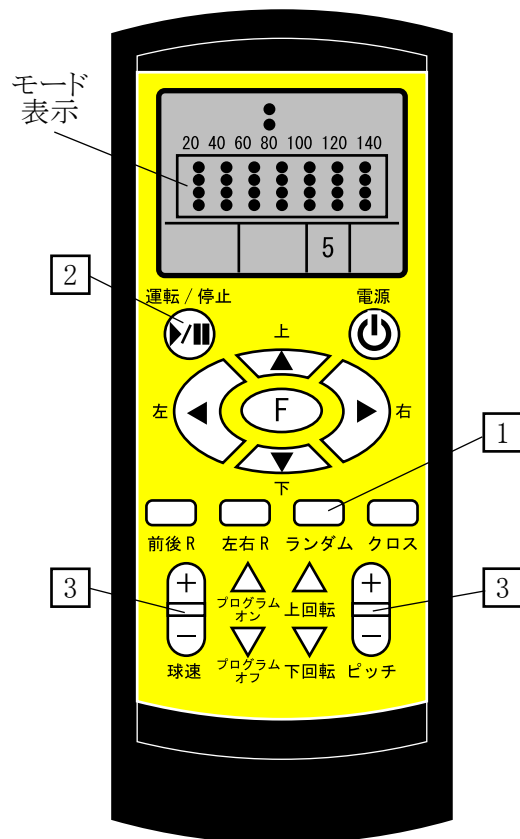
※モード表示がランダムモードに切り替わります。

- 2 運転 / 停止ボタンを押して、投球運転を開始します。

! リモコンのボタン操作時、投球時にマシーンから合図音が鳴ります。

- 3 投球を確認後、球速、供給ピッチを必要に応じて調整します。

※上下方向、左右方向の調整はできません。

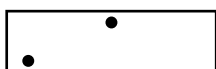


前衛・後衛の交互にボールを出す(クロス)

- 1 リモコンのクロスボタンを押し、クロスモードにします。

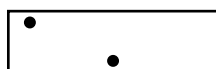
※モード表示がクロスモードに切り替わります。

【1回押し】



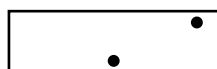
→前中・後左

【2回押し】



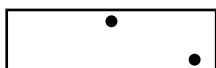
→前左・後中

【3回押し】



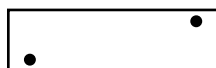
→前右・後中

【4回押し】



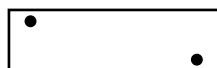
→前中、後右

【5回押し】



→前右、後左

【6回押し】



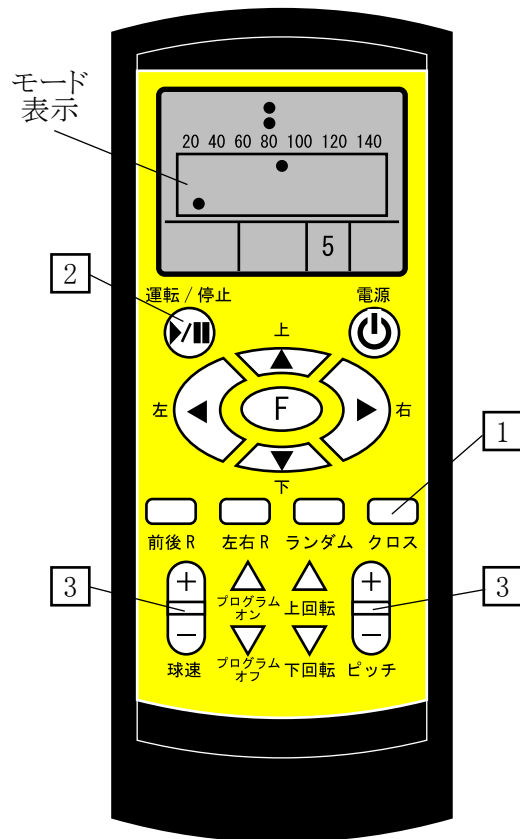
→前左・後右

- 2 運転 / 停止ボタンを押して、投球運転を開始します。

! リモコンのボタン操作時、投球時にマシーンから合図音が鳴ります。

- 3 投球を確認後、球速、供給ピッチを必要に応じて調整します。

※上下方向、左右方向の調整はできません。



好みの順にプログラムする(プログラム)

1 リモコンのプログラムオンボタンを**長押し**して、プログラムモードにします。
※モード表示がプログラムモード(左下の●印が点滅)に切り替わります。

2 上下調整ボタン、左右調整ボタンを押し、好みの位置に●印を移動させます。
※前後4列、左右7列から選択します。

3 好みの位置に●印を移動させたら、プログラムオンボタンを押し決定します。

4 2と3の操作を繰り返し、好みの順にプログラムします。
※選択決定した●印上でプログラムオフボタンを押すと、選択解除されます。

5 運転/停止ボタンを押して、投球運転を開始します。

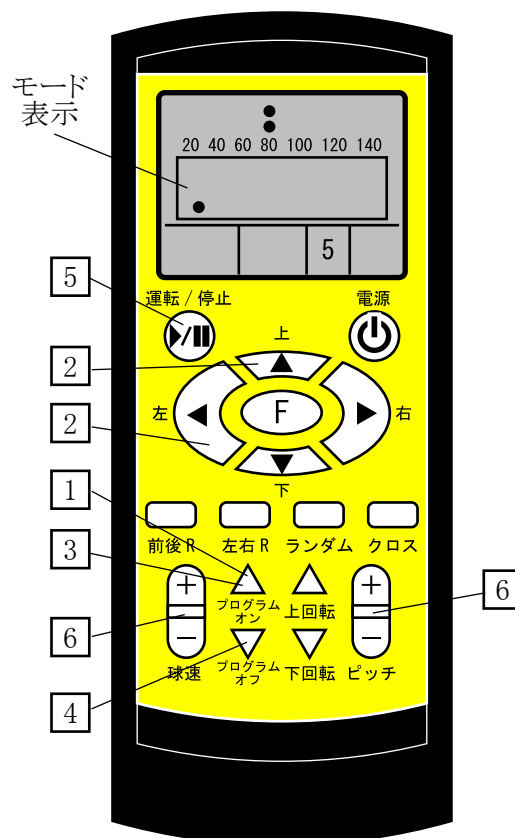
❗ リモコンのボタン操作時、投球時にマシーンから合図音が鳴ります。

6 投球を確認後、球速、供給ピッチを必要に応じて調整します。

※上下方向、左右方向の調整はできません。

※このとき設定された球速、球速ピッチでボールが出ます。

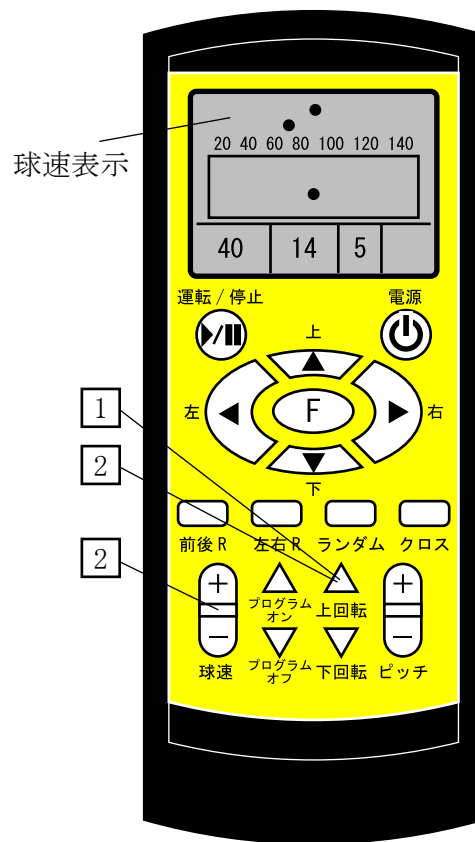
例えば「1球目は球速設定 60。2球目は球速設定 100」などのプログラムは組めません。



色々なボールの出し方

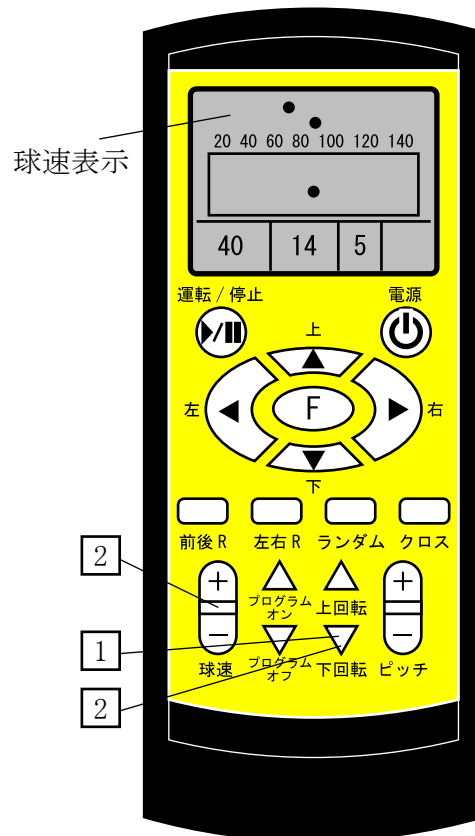
上回転ボールを出す（上回転）

- 1 球速の調整操作時にリモコンの上回転ボタンを押します。
※球速表示が上回転設定に切り替わります。
※上下設定が「21」以上の場合は、上回転に変更することができません。
- 2 さらに上回転ボタンを押して、好みの球速に調整します。
※球速調整ボタンを押すと、通常設定（無回転ボール）に戻ります。
※上下設定が「20」を越えると、球速設定が「50・50」の無回転ボールに自動設定されます。



下回転ボールを出す（下回転）

- 1 球速の調整操作時にリモコンの下回転ボタンを押します。
※球速表示が下回転設定に切り替わります。
※上下設定が「21」以上の場合は、下回転に変更することができません。
- 2 さらに下回転ボタンを押して、好みの球速に調整します。
※球速調整ボタンを押すと、通常設定（無回転ボール）に戻ります。
※上下設定が「20」を越えると、球速設定が「50・50」の無回転ボールに自動設定されます。



球速と供給ピッチの目安

- 下記の数値を参考に、使用する球速・供給ピッチに合わせてリモコン操作ください。
- 下記の数値はあくまで目安となっております。ホイールの状態や間隔、ボールの状態、ホッパーのボール収納数、投球設定、電源環境により、表記どおりにならないことがあります。

球速の目安

- 通常回転（無回転）

リモコン表示	上	20	40	60	80	100	120	140
	下	20	40	60	80	100	120	140
球速 (km/h)		50	60	70	80	90		

- 上回転

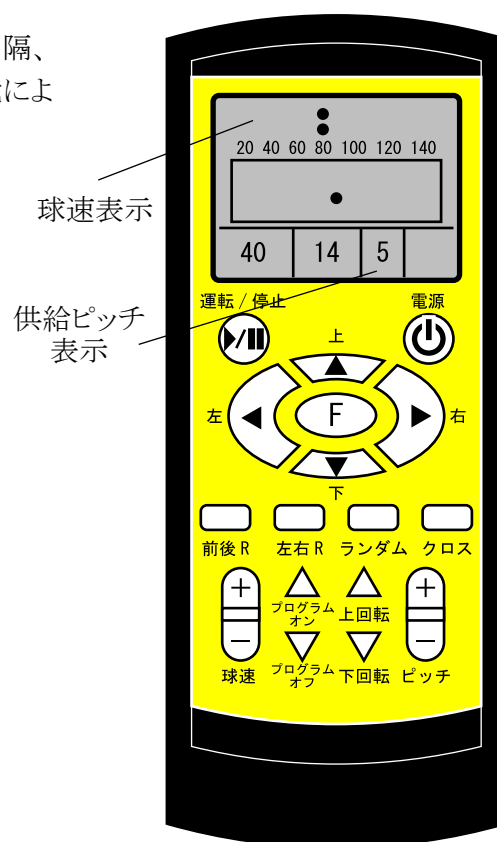
→ いずれの設定でも約 70 ~ 80km/h で投球されます。

- 下回転

→ いずれの設定でも約 70 ~ 80km/h で投球されます。

供給ピッチの目安

リモコン表示	1	2	3	4	5	6	7	8	9
供給ピッチ (秒)	9	8	7	6	5	4	3	2.5	2



トラブルシューティング

- 使用中にトラブルがあった際には、使用を中止し異常箇所を確認してください。
- 問題が解決するまでは使用しないでください。

◎電源スイッチを AC 側に ON にしてもバッテリー残量表示画面が点灯しない。

- コンセントに電源プラグを差し込んでいますか？
→ コンセントに電源プラグを差し込んでください。
- AC ソケットから AC 出力プラグが抜けていませんか？
→ AC ソケットに AC 出力プラグを差し込んでください。
- 電圧が不足していませんか？
→ 単独回路 (20A) で使用してください。電圧が不足している場合は、電気工事店にご相談ください。
- コンセントに電気はきていますか？
→ 他の電化製品またはテスターで確認してください。電気がきていない場合は、電気工事店にご相談ください。
- リード線が断線していませんか？
→ 新しいリード線に交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 電源プラグを AC200V に差し込んでいませんか？
→ このマシンは AC100V 専用です。内部基板が焼損した場合は新しい内部基板に交換が必要です。内部基板の交換は工場修理となります。お買い上げの販売店にご相談ください。

◎電源スイッチを DC 側に ON にしてもバッテリー残量表示が点灯しない。

- 内蔵バッテリーに充電されていますか？
→ 「充電について」(P.8)を参照し、充電してください。

◎リモコンの電源ボタンを押しても表示画面に何も表示されない。

- リモコンに乾電池は入っていますか？
→ 「はじめてお使いになる前に」(P.6)を参照し、乾電池を入れてください。
- 電源ボタンを長押ししていますか？
→ 電源ボタンを長押ししてください。

◎リモコンの運転 / 停止ボタンを押しても作動しない。

- マシン、リモコンの電源は ON になっていますか？
→ それぞれの電源を ON にしてください。
- ヒューズソケットにヒューズは入っていますか？
→ 「はじめてお使いになる前に」(P.6)を参照し、ヒューズを入れてください。

◎マシン使用中に異音がする。

●ビスが外れていませんか？

→ビスの取り付けが必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

●本体に亀裂は入っていませんか？

→工場点検が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

●ホイールのウレタンが剥離していませんか？

→新しいホイールに交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

◎コントロールが悪い。

●ボールの球種・状態は適切ですか？

→「使用ボールについて」(P.11)を参照してください。

◎マシンから警告音(ブザー)が鳴り続ける。

●マシンの内部でボールが詰まっていますか？

→マシンの電源スイッチをOFFにして、ホイールが完全に静止してからボールを取り除いてください。

アフターサービスについて

◎保証について

●保証書について

このマシンには保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

●保証期間中の故障について

保証期間中に故障が発生した場合は、保証書をご提示のうえ、お買い上げの販売店にご相談ください。

※保証期間中でも、有償修理になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。

万一、故障が発生した場合は、一度この取扱説明書をよくお読みいただき、ご点検ください。

◎工場定期点検について

テニスマシンは使用開始後、2～3年経過毎に工場定期点検（有料）が必要です。

工場定期点検では、未然に故障・事故の発生を防止し、常に良い状態で安全にご使用いただく為に各部品の点検・調整を行います。工場定期点検は工場到着後、実動約10日間で完了致します。別途部品交換（有料）が必要な場合は、最大実動約14日間が追加で必要となります。ご依頼・お問い合わせが、お買い上げの販売店にご相談ください。

※上記の日数は、時期によって異なる場合があります。

※商品のご持参・お持ち帰りの交通費、または送付される場合（適切な梱包のうえ、送付ください）の送料、梱包費、その他所掛かり費用はお客様のご負担となります。ご返送の場合も同様にお客様のご負担となります。

◎修理について

故障が発生した場合は「トラブルシューティング」(P.21)を参照し、故障内容をお調べください。

●部品交換について

部品販売については、お買い上げの販売店にご相談ください。故障内容によっては工場での修理となります。修理により商品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料にて承ります。この際には、常に良い状態で安全にご使用いただく為に、部品交換作業に加え、工場定期点検を行います。

●修理費用について

修理に掛かる部品代・交換作業代・工場定期点検料・その他所掛かり費用に関しては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店にご相談ください。

工場での修理返送に備えて、お買い上げ時の梱包箱はお手元に保管ください。

表示シール（一覧）

注意

- ① 取扱説明書に従ってマシンを操作してください。
- ② 硬式テニスボール以外は絶対に使用しないでください。
- ③ 回転している部分には、絶対に触れないでください。
- ④ マシン使用中は、絶対にマシンの前を横切らないでください。
- ⑤ ホッパーにボールを補給するときは、リモコンの運転 / 停止ボタンでマシンを停止させてから行ってください。


日本総販売代理店

株式会社トーアスポーツマシーン

BASEBALL PITCHING MACHINE & SPORTS MACHINES

本社 〒551-0031 大阪市大正区泉尾6丁目6番12号 TEL.(06) 6552-8247
 松阪工場 〒515-0041 三重県松阪市上川町長楽3456-2 TEL.(0598) 28-6669

注意



- ① 取扱説明書に従ってマシンを操作してください。
- ② 回転している部分には、絶対に触れないでください。
- ③ マシン使用中は、絶対にマシンの前を横切らないでください。
- ④ ホッパーにボールを補給するときは、リモコンの運転 / 停止ボタンでマシンを停止してから行ってください。

使用可能ボール：硬式・硬式ジュニアボール（オレンジ・グリーン）

マシン本体に貼ってあるシールがはがれたり、表示が消えたりした場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

また、ここに掲載されているシールは、実物大とは異なりますので予めご了承ください。

製品仕様書

球速	50～90km/h
使用球	硬式
使用電源	AC100V 50/60Hz
寸法（約）	奥行き 57 × 正面幅 40 × 高さ 104cm
投球高さ（約）	22cm
本体質量（約）	29kg
付属品	リード線、ACアダプター、ヒューズ（3本）、リモコン、単四乾電池（2本）

※商品の仕様は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。



Atoa はトーアスポーツマシーンのブランドです。

日本総販売代理店



本 社 〒551-0031 大阪市大正区泉尾6丁目6番12号 TEL.(06) 6552-8247
松阪工場 〒515-0041 三重県松阪市上川町長楽3456-2 TEL.(0598) 28-6669

<http://www.toa-sports-machine.co.jp>

20.09.25

19.09.03

19.08.02

19.03_01

19.02_00

Printed in Japan